

ボランティアグループ「もちの木」が、 第1回賀川賞を受賞しました

昨年の12月、尼崎医療生協のボランティアグループ「もちの木」は、

賀川豊彦献身100周年記念事業の第1回賀川賞（団体賞）を受賞しました。「もちの木」は、23年間にわたり、尼崎医療生協病院を中心ボランティア活動を行ってきたグループです。その活動内容は、色々な種類の道具などの修理、植木の剪定・水やり、おしぼり巻き・お茶の葉袋詰め、お誕生カード作り、お誕生会のおやつ準備、手芸・ミシン掛け、散髪などの本当にさまざまです。

1月12日（火）、こうしたボランティア活動に感謝し、今回の受賞をお祝いする祝賀会が、尼崎医療生協

あおぞら会館内の「組合員ひろば」で開かれ、およそ40人がかけつけました。

祝賀会では、福島専務のあいさつ、中川副理事長の受賞の経過報告につき、医療生協病院や老人保健施設「ひだまりの里」からも感謝の言葉が送られ、参加者全員で受賞を祝いました。

（組合員活動部 李美姫）



賀川賞賞状と左写真は「もちの木」初代会長の森さん（故人）



「もちの木」受賞祝賀会のようす